

**秋** 平成25年度(2013)秋季地区予選

J(希望ヶ丘)	希望ヶ丘	横浜立野	舞岡	磯子工	勝点	得失	順位
希望ヶ丘		10-9	6-4	6-5	9	4	1
横浜立野	9-10		3-7	2-5	0	-8	4
舞岡	4-6	7-3		4-10	3	-4	3
磯子工	5-6	5-2	10-4		6	8	2

## 平成25年度(2013)秋季県大会

## 【2回戦】

9月8日 光明相模原高

希望ヶ丘 0 0 0 0 0 0 | 0

相模原総合 0 1 1 2 0 3 x | 7

(七回コールド)

(希) 鶴見、今野-早川

(相) 八木-津村

▽三塁打 青地(希) 小室、八木(相)

▽二塁打 青地(希) 小林(相)

**春** 平成26年度(2014)春季地区大会

0(希望ヶ丘)	希望ヶ丘	白山	横浜立野	森村学園	勝点	得失	順位
希望ヶ丘		8-6	5-2	11-0	9	16	1
白山	6-8		9-1	6-8	3	4	2
横浜立野	2-5	1-9		15-5	3	-1	3
森村学園	0-11	8-6	5-15		3	-19	4

## 平成26年度(2014)春季県大会

## 【2回戦】

4月12日 横浜隼人高

川崎北 0 2 2 0 1 0 0 1 0 | 6

希望ヶ丘 0 0 0 0 0 0 0 0 1 | 1

(川) 原山-白木

(希) 磯部、江幡-早川

▽本塁打 大木(川)

▽三塁打 原山(川)

▽二塁打 大木(川)

**夏** 第96回全国高校野球選手権神奈川大会

## 【2回戦】 15日横浜スタジアム

試合時間 1時間47分

関東学院 0 6 0 3 4 | 13

希望ヶ丘 0 0 0 0 0 | 0

(五回コールド)

(関) 北村-田中

(希) 今野、磯部、鶴見、江幡-早川

▽三塁打 松本、藤原、花岡、佐藤(関)

▽二塁打 田中、佐藤、松本(関)

▽犠打 関1(金子) 希0

▽盗塁 関3(山口、佐藤、奥平) 希1(浅原)

▽失策 関0 希1(坂本)

▽ボーク 今野(希)

私たちK-67は2012年に入学し、2015年まで増田先生のもと、活動をしておりました。一学年の人数は選手が7名(青地、阿部、稲葉、大関、小酒井、今野、本間)マネージャーが1名(川澄)と少数の学年でした。

良き先輩後輩に囲まれたこともあり、人数が少ないものの意志は強く少し生意気な代であったと思います。

今回は野球部創部120周年記念とこのことで、この代の主将を務めました小酒井が自分たちの代の思い出を中心に綴らせていただきます。拙い文章でございますが、お読みいただけますと幸いです。

先ほど一学年の人数を記しましたが、実は入部当時は他にも部員がいました。当時のチームの目標は甲子園出場、甲子園で一勝と、高い目標を目指した厳しい練習の日々でしたので、志半ばで去っていった同期もいました。

そんな中残った私たちの代はお世辞にも野球が上手い、センスがあるとは言えず、自分たちの理想と現実のギャップに大変苦しんだ日々でした。

何度も心折れかけながらも負けじと踏ん張る日々では、同期と衝突し時には言い合いになったり、手が出かけたりするようなこともありました。

先輩方がいるときにはただ生意気でいればよく、もっとこうしたい、こうすべきと同期でよく話し合い、時にはその意見がチームと衝突することもあったかと思えます。

しかし、その思いとは裏腹に自分たちの代がスタートした夏休みは特に厳しかったことを今でも鮮明に覚えています。

新チームが始まり最初の練習試合で勝ってからは約20連敗。もがけどもがけど前に進まない日々では、モチベーションの低下、苛立ち、秋大予選への焦り、負の感情で埋め尽くされました。主将として空元気でもいいので、声を出し鼓舞することができることだと必死でしたが、他には為す術のない日々が続きました。直前の練習試合でなんとか勝つことができたあの試合は、公式戦で勝ったかのような感情の高ぶりを感じました。あの秋なぜ予選を突破し県大会に進めたのか、今でも不思議です。

結局私達の代は夏初戦コールド負けで終わりました。悔しさから野球を続けたもの、新しい道に進んだもの、様々ありますが、苦しい日々を過ごした8名は卒業した今のほうが仲良く集まり遊んでいます。

全員は揃いませんでしたが以前増田先生ともお酒を交わし、当時の思い出や現状報告など会話に花を咲かせました。

私たちの代は結果で希望ヶ丘高校の歴史を飾ることはできませんでしたが、長い歴史の一部となれたこと嬉しく思っております。

以上、K-67の振り返りになります。最後までお読みいただきありがとうございました。

K67 小酒井 将仁